

 評価のポイント

CL- I .専門性の開発能力

【5-1】 小児と医療安全:転倒・転落防止における看護師の役割・家族との連携

- ① 入院してきた子どもや親の様子をみて、直感的に「転倒・転落の注意が必要だ」と感じたエピソード（暗黙知）はありますか？

看護実践を続ける中で、転倒・転落した（しそうになった）経験と、その子どもの特徴が無意識の間につながってきています。

- ② それには、どんな特徴がありましたか？

「〇〇のような子どもはなんだか要注意だな」という子どもの特徴についての暗黙知を、意識的に話し合うことで形式知化し、直感を高められるようにしましょう。

- ③ そのような時は、どのように対応していますか？

自身（自分たち）の考えに加え、先輩看護師にもインタビューをして、形式知化してみましょう

特徴の多くは、転倒・転落の危険因子になるでしょう。それらに対して、具体的かつ実践可能な対策をできるだけたくさん出し合って、転倒・転落防止につなげていきましょう。